

# 平成30年度 福祉のまちづくり研修



マニュアルだけでは理解できない「福祉のまちづくり」のセンスを磨きませんか？  
この研修は、障害当事者のバリアフリー設備の利用方法等を確認しながら、視覚障害者とのフィールドワークや車いす体験、障害当事者の講話を通して、高齢者や障害者等の立場を知り、そこから得た気づきの視点をまちづくりの企画・設計など、日頃の業務に生かしていただくことを目的としています。

## 日時

平成30年10月30日（火）・31日（水）  
9時45分～17時15分（受付開始 9時40分）  
※研修内容は両日とも同一です

## 会場

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール2階大会議室  
（横浜市港北区鳥山町1752）  
JR横浜線・市営地下鉄「新横浜駅」より徒歩10分

## プログラム

### トイレセミナー

障害者等のトイレの利用方法、配慮のポイントをTOTO(株)の講師が解説  
**障害当事者の講話**

視覚障害、直腸・膀胱機能障害（人工肛門・人工膀胱造設者）の特性、整備する際の注意点を障害当事者が語る

### 視覚障害者とフィールドワーク

視覚障害者誘導用ブロックの使い方、横断歩道の渡り方等を視覚障害者の講師が実演し、また白杖を用いて実際に体験する

### 車いす体験

車いすの操作方法を学び、実際に自走して屋内外の床面の違いやスロープの縦断勾配、トイレ内の設備の使い方等を体験する

### 事例検討・紹介

グループワークを通し、整備の際の注意点や障害当事者等にとって「望ましい」整備を考える

## 対象・申込み等

公共建築物、道路、公園等の企画・設計や管理を担当している職員  
その他受講を希望する職員 40名程度（各日20名）（応募者多数の場合は抽選）

〆切：平成30年10月2日（火） ※受講可否について別途ご連絡します  
下記QRコード・URLから申込ページへ

QRコード：



URL：（<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/dform.do?id=1535966292998>）

♪受講者の声♪  
「工事の設計・監督をする職員には必修の研修です」

「体験を通して、マニュアルで定められている設備や基準の必要性が実感できました」





●電車・徒歩・バスをご利用の場合

JR横浜線「新横浜駅」(北口)／横浜市営地下鉄「新横浜駅」(8番出口)から徒歩約10分

●新横浜駅からリフト付き送迎バス(無料)をご利用の場合

下記URLにて、送迎バス乗り場及びバス時刻表をご確認ください。

(<http://www.yokohama-rf.jp/rapport/access/>)

※なお、障害者の乗降が優先のため、混雑の状況によりご乗車いただけない場合があります。

●横浜市営バスをご利用の場合

横浜市営バス(300系統)で、「浜島橋」下車 徒歩2分

※市営バスは下記の駅から接続しています。

市営地下鉄「仲町台駅」／JR横浜線・横浜市営地下鉄「新横浜駅」



会場付近は飲食店が少なく、また、会場内の売店等は混雑が予想されますので、昼食はあらかじめご準備ください。  
※大会議室内は飲食可能です。

以前、福祉のまちづくり研修を受講した方にもおすすめです！

福祉のまちづくりのセンスを養いたい方

障害者や高齢者が利用しやすい設計に関心のある方はぜひご参加ください！

★主催・問合せ 横浜市健康福祉局福祉保健課

(TEL) 045-671-2387 (MAIL) kf-fukumachi@city.yokohama.jp

★協力 TOTO株式会社、(特非)View-Net神奈川、横浜市オストミー協会、  
福横浜市リハビリテーション事業団